

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22039	事業名	東海道街道環境整備事業				評価分類	A1	
	事業手法	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()								
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計		
		基本施策	10:歴史文化を生かしたまちづくりの推進				款	08:土木費		
		施策の方向	01:街道を基軸とした歴史的風致の維持向上				項	02:道路橋梁費		
	重点プロジェクト	02:「まち紡ぎ」プロジェクト			目	04:道路舗装費			担当部署	
事業期間	R 4 年度	～	R 11 年度	主な根拠法令等	道路法・道路構造令					

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	本市の歴史的風致は、特色ある歴史文化遺産が存在する東海道を中心に受け継がれている。近年、関宿や亀山宿への来訪者が増加傾向にある中、安心・安全な道路環境の整備を行うとともに、歴史的風致の維持・向上を図る必要がある。	市民及び東海道街道への来訪者	市民や来訪者が、東海道という歴史的な道路であると一目でわかるよう、舗装の美装化を行い、東海道を中心とした沿道区域の魅力向上を図る。	社会資本整備総合交付金を活用し、亀山市東海道整備方針に基づき、市内における東海道全延長約19kmのうち、関宿東海道、亀山宿東海道などの約3kmの舗装の美装化を行う。

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画		○舗装工事		○舗装工事		○舗装工事		○舗装工事		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		美装化の舗装工法について関係者と協議を行い決定し、舗装工事を計画通り完了した。 地蔵院小野線 L=1.0km		関係者の理解の下、美装化を計画通り完了した。 古裏停車場線 L=0.4km 関神社線 L=0.1km		関係者の理解の下、美装化を概ね計画通り完了した。 地蔵院西ノ口線 L=0.7km		関係者の理解の下、美装化を計画通り完了した。 地蔵院西ノ口線 L=0.1km		
	計画額	事業費	75,900千円	49,017千円	28,000千円	45,861千円	62,000千円	59,022千円	20,000千円	12,400千円	
		国・県支出金	37,950千円	24,500千円	14,000千円	26,742千円	31,000千円	25,500千円	10,000千円	5,750千円	
		地方債		0千円		0千円		22,900千円		5,700千円	
		その他		0千円		0千円		0千円			
		一般財源	37,950千円	24,517千円	14,000千円	19,119千円	31,000千円	10,622千円	10,000千円	950千円	
	決算額	事業費		49,018千円		45,861千円		58,652千円		12,397千円	
		国・県支出金		24,500千円		26,742千円		25,500千円		5,750千円	
		地方債		0千円		0千円		22,900千円		5,900千円	
		その他		0千円		0千円		0千円			
一般財源			24,518千円		19,119千円		10,252千円		747千円		
①期間内計画額(R4-7)		185,900千円		②期間外計画額(R8-)		0千円		①+②総計画額		185,900千円	

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	12,400千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指 標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	舗装済延長(累計)	本事業において美装化した舗装延長	成果	km	計画値	1	1	2	3
					実績値	1	2	2	2
					計画値				
					実績値				
					計画値				
					実績値				

⑤ 成 果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	A	国の社会資本整備総合交付金を活用し、東海道が歴史的な道路であることを一目で認識できるよう舗装の美装化を実施したことで、市民や来訪者に対し、東海道を中心とした沿道区域の魅力向上につながった。 また、亀山宿東海道には着手できなかったものの、関宿東海道の整備は全区間で完了し、地域の景観向上と回遊性の向上に寄与する成果が得られた。
十分な成果を得た		

事業の対象	事業の目的
市民及び東海道街道への来訪者	市民や来訪者が、東海道という歴史的な道路であると一目でわかるよう、舗装の美装化を行い、東海道を中心とした沿道区域の魅力向上を図る。

(再掲)

⑥ 課 題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	令和7年度において社会資本整備総合交付金の当初交付率が低調であったことから、令和8年度以降も交付率の低下が懸念され、美装化計画の進捗に影響を及ぼす可能性がある。このため、事業計画時期の見直しに加え、安定的な財源確保に向けた関係機関との調整が重要な課題となっている。

⑦ 事 業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(縮小)	事業規模の適正化やコスト節減等に向け、事業を縮小する。
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの
	関宿東海道の美装化が全区間で完了したことを受け、亀山市歴史的風致維持向上計画(第2期)に基づく事業の優先度を見直した結果、亀山宿東海道の美装化については、令和12年度以降に実施する方針とした。	関宿東海道の美装化が全区間で完了したことを受け、亀山市歴史的風致維持向上計画(第2期)に基づく事業の優先度を見直した結果、亀山宿東海道の美装化については、令和12年度以降に実施する方針とした。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A	A	A
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(縮小)

(履歴)

1次評価者	建設部 建設管理課 道路保全GL 竹内 光利
最終評価者	建設部 建設管理課長 曾我 信介